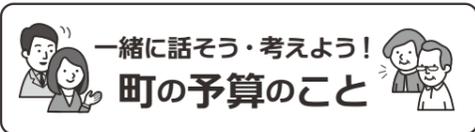


議会からの提言

新年度予算に どう反映されたか



どう使う? 私たちのお金

Part.1 「議会と町民は一体」あなたの声が町を動かす

あわせて読みたい



台風19号の災害から町民と議会が考えた防災特集号。220人アンケートから見たものとは…(議会だよりNo.95)



“災害の教訓を生かして”



準備なしでは、緊急事態に住民の安全と財産を守れませんよ。

小櫻邦彦さん(男)

早期の災害復旧と、液体ミルクなどの防災備蓄品に関する予算を可決

提言

03

防災対策の強化



解説 想定されていた地震に加え、昨年10月の台風19号のような風水害に対しても「自分たちの命は自分たちで守る」ことが重要。そのためには、1人ひとりの事前準備と住民相互の助け合いが不可欠です。

新年度予算は

防災対策事業(自助・協助・公助) **3329万円**

避難所マット280枚・液体ミルク等購入。中学校区ごとの宿泊防災訓練・聴覚障害者向け防災講座など

新年度予算は

観光施設災害復旧費 **1650万円**

風布地区・風のみち 修繕工事

ギカイ議論★大澤議員

防災資機材を使った訓練の充実を



ギカイの視点

- *自主防災組織の強化
- *指定避難場所(各中学校区)での防災訓練
- *避難行動要支援者名簿の登録
- *避難所での環境面の対策

ギカイ議論★中嶋議員

台風被害の観光場所、復旧工事を迅速に



ギカイ議論★保泉議員

多様な立ち場の児童生徒に配慮を



新年度予算は

総額 **10億4500万円**

(昨年度比6200万円増)

ギカイの視点

- *学力向上
- *部活動継続
- *教員の負担軽減
- *いじめ・不登校の解消

ギカイ議論★原口議員

財政面もしっかりと熟慮した上で、小中一貫教育の推進を



小中学校は地域中心の場。みんなが集まる場所であってほしいですね。

伴場洋子さん(男)



「出る杭は伸ばせ」 ～知識量から生きる力へ～

教育の充実、町長主要施策として6年目、議会の提言としても3年目。議長が聴いた、教育行政トップの「教育・人づくり」にかける熱い想い。

今、求められている教育、寄居町の目指す教育は。

教育長…言われるままに仕事をするのではなく、起業できる人を育てたいですね。時代の変化は激しく、今ある仕事が半分以上なくなったり、AI(人工知能)に取って代わられる時代が目前にきていますから。

そのためには、どんな教育が必要でしょうか。

教育長…まずはグループで課題を議論する「アクティブラーニング」。4年目ですが、効果が上がっています。初めは思いを発言できなかった子どもも、積極的に発言できるようになっている。日本では、控えめ=美德という時代がありましたが、「集団の輪の中におさまらなければダメ」、「出る杭は打たれる」では、世界から遅れてしまいます。むしろ「出る杭を伸ばす教育」を心がけています。

それから「道徳」。AIが多分野で使われる時代、人間が人間らしく、AIで対応できない分野が道徳です。答えありきではなく、多様な

考えを認めつつ、「皆で議論する道徳」が求められていると思います。

* どう使う その知識 *

教育現場での変化も大きいのではないですか。

教育長…令和2年度から、10年ぶりに学習指導要領が変わり、「これを知って(学んで)何ができるのか」が問われるようになります。知識量から「生きる力」へと、目標が大きく変わるということです。学力も同様で、知識を活用して「生きる力を問う」学力検査となります。「学力=生きる力」とも言えるので、寄居の子ども達の学力は重視します。

現場の先生には、学校の中にもならず、広く社会全体を見てほしい。校長を中心に先生たちがワンチームにならなければ、これからの教育には対応できません。

私は毎年、小中9校すべての先生の授業を見て回ります。先生の質を高めるためにも、これも私の大きな仕事のひとつだと考えています。

提言

04

教育の充実強化

寄居町教育長

轟 和男(とどろき・かずお) 1950年生まれ。教員生活35年。中学理科の教員としてスタート。男倉中学校長で定年を迎える。

